

活動報告 『令和7年度 第2回小児サポート研修会』

【日時】 令和8年2月1日（日） 10:00~12:00

【場所】 福岡市立心身障がい福祉センター（あいあいセンター） 7階大研修室

【参加申込】 37名（会員18名、非会員ST7名、他職種4名、学生8名）

【内容】

①講演「構音の発達のために私たち ST ができること」

聖マリア病院 中島栄子先生

②症例検討「ダウン症児の構音発達における支援と課題

ー特別支援学校小学部3年生の事例ー」

屋形原特別支援学校 谷川弘樹先生

今年度2回目の小児サポート研修会を開催致しました。

当日は、小児への支援に携わる ST に加え、言語聴覚士養成校在籍中の学生、医師や歯科衛生士、特別支援学校教員など他職種からの参加もあり、テーマへの関心の高さが伺われました。

前半は聖マリア病院中島栄子先生から、小児の構音障害をみる上での基礎知識についてお話いただきました。基礎知識とは言え、評価や訓練適応、生活の中でできる工夫など内容は多岐に亘り、その後の症例検討、グループディスカッションを深める上でのヒントとなりました。

後半は、屋形原特別支援学校谷川弘樹先生から症例を提案いただき、症例へのアプローチについて小グループで活発な意見交換を行いました。小児に携わる ST はそれぞれの臨床見解を提案し合い、また学生や他職種ならではの視点に気づかされるなど、有意義なディスカッションの場となりました。

小児サポート研修会は、小児に携わる ST がつながり、情報を共有し、スキルアップを図ることを大きな目的としています。この場でのつながりが、参加された皆さんの臨床の助けとなることを期待しています。また、今回初めて学生の参加を受け入れています。この研修会でのつながりが小児 ST を目指すきっかけとなる可能性をととても嬉しく楽しみに感じています。

小児サポート委員会 吉次春香

受講者の参加記

中島先生の講義では、身体機能・口腔機能の評価や、左右差の確認の大切さを学び、先生が使用されている構音評価表のように細かく評価をしていきたいです。

谷川先生の症例検討では、グループディスカッションが行われ、多くの先生方の評価や訓練方法を知ることができました。また、日頃の臨床で悩んでいることを相談する時間もあり、先生方と意見を交わしあうことができ、とても有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。

(一般社団法人子どもサポートセンター すまいるキッズ 多恵馬 美穂)

講演と症例検討を通して、包括的な支援について臨床での実践的なお話などをお伺いすることができました。正しく発音するための要素や、構音障害の背景となる対象症状の特徴、問題事例などを詳しく、とてもわかりやすくお話しくださりました。身体的・知的な発達や社会性や情緒的発達などの評価、訓練による包括的な支援が重要であることやグループワークでの症例検討では、様々なお話をお聞きすることができ、貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。

(参加学生)

